

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>あなごのねどこ / 尾道ゲストハウス</b> Onimichi guesthouse ANAGO no NEDOKO			
<b>建築用途</b>	大分類 宿泊	小分類 ゲストハウス		
<b>改修設計者</b>	NPO尾道空き家再生プロジェクト			<a href="#">URL</a>
<b>所在地</b>	広島県尾道市土堂2-4-9			<a href="#">Google Map</a>
<b>改修年</b>				After アーケード商店街側の外観
<b>建築規模</b>			<b>撮影者提供者</b> 撮影: 桐原武志 2023年	
<b>掲載書誌</b>			<b>概要 after</b> 間口が狭く奥行きが長い尾道の歴史的建物をゲストハウスに改修し活用すると共に、尾道に移住してきた若い担い手の活動の場を提供。	
<b>賞・選定</b>				
<b>資料・その他</b>	平面図			<a href="#">URL</a>
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>町家</b>		<b>概要 before</b> 尾道旧市街地の商店街に残る、間口が狭く奥行きが50mもある町家。近世の地割りを引き継ぐ作り	
<b>建築用途</b>	大分類 住居、商業	小分類 町家、店舗		
<b>■写真</b> Before 改装作業中の2F室内	After 表から中庭に続く狭くて長〜い土間通路		After 2Fドミトリー内観	
				
<b>撮影者提供者</b>	撮影・提供: 渡邊義孝		<b>撮影者提供者</b> 撮影: 桐原武志 2023年	
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、痕跡、補強	<b>内容</b> <渡邊義孝氏(NPO尾道空き家再生プロジェクト)寄稿> 「あなごのねどこ」～商店街で宿をつくる 尾道の特産であるアナゴにもじって「あなごのねどこ」と命名されたこの建物は、まさに「うなぎの寝床」のように50メートルにも及ぶ長い敷地を持っている空き店舗でした。近世地割りを引き継ぐ典型的なつくりです。 職人さんの指導を仰ぎながら素人が中心になって改装。デザインは漫画家・イラストレータのつるけんたろう氏。彼もまた移住者のひとりです。1階をカフェとして、2階をドミトリー中心の安い旅人の宿に改装。3000円ほどの値段で泊まれる、2段ベッドのドミトリーが基本です。 1階部分には「あくびカフェ（現在は「喫茶部あくび」に改称）」を設置。建築的には、市内で廃校になる小学校の備品や板等、廃物を最大限利用して内装を作っています。それが時間の流れを感じさせる魅力につながっています。それも、新しすぎない独特の味を出している秘訣です。そしてここでは、カフェ部門を含めて多くの若者を雇用しています。「移住者のとりあえずの雇用の場」としての位置づけもあるのです。		
	<b>■備考</b>			
<b>■作成者</b> 氏名/所属	桐原武志 / Free JIA再生部会		<b>作成協力</b> 渡邊義孝	